

自動車地球温暖化対策実施方針

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	合同会社西友	事業所名	小手指店				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
02	自転車の利用促進	525台分の駐輪場あり			○	○	○
(01)	十分な広さの駐輪場の設置・維持管理						
02	自転車の利用促進	2時間まで無料で駐輪可能			○	○	○
(02)	自転車利用者へサービス・インセンティブの付与						
02	自転車の利用促進	自転車をロックすることが可能な駐輪場を設置			○	○	○
(03)	自転車利用者の利便性の向上						
06	宅配サービスの実施等	電化製品や大型家具の配送			○	○	○
(01)	荷物の宅配サービスの実施						
06	宅配サービスの実施等	ネットスーパーを利用されたお客様への商品の配送			○	○	○
(02)	インターネット等を利用した物品販売の促進						

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	合同会社西友	事業所名	上福岡店				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32

自動車地球温暖化対策実施方針

02 自転車の利用促進 (01) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	765台分の駐輪場あり。	○	○	○
02 自転車の利用促進 (02) 自転車利用者へサービス・インセンティブの付与	2時間まで無料で駐輪可能	○	○	○
02 自転車の利用促進 (03) 自転車利用者の利便性の向上	自転車をロックする事が可能な駐輪場を設置	○	○	○

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	合同会社西友	事業所名	東松山店				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
02 自転車の利用促進 (01) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	300台分の無料駐輪場あり。			○	○	○	

《 1 大規模荷主 》

事業者名	合同会社西友	事業所名	若菜川越オフィス				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	納品コースの効率確認、待機時間が適正か確認			○	○	○	

自動車地球温暖化対策実施方針

01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認	対象の運送業者様には確認を実施	○	○	○
02 モーダルシフトの推進 ()	関東⇒北海道間で一部フェリーを使用し転送	○	○	○
03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ()	省エネ法に基づく基準で毎年全国のセンターへ確認し、法令に基づきセンターより報告実施	○	○	○
04 積載率の向上 (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	1パットの入数を上げることで積載率を向上させる。	○	○	○
04 積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	物量に応じて、4トン・10トンで配送調整を実施	○	○	○
05 混載便の利用又は共同輸配送の実施 (01) 混載便利用の取組	センター間・店舗配送時は混載し配送効率をあげて配送を実施	○	○	○
05 混載便の利用又は共同輸配送の実施 (02) 他者との共同輸配送の取組	地方への商品配送時に小口になる場合は、他社商品と混載で配送の実施	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	低燃費車両の推奨をしております。	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	西友物流部より要請しております。	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	燃費実績を報告して頂いております。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	17時に受注データを受信、配送時間を一律で対応	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	積載データを定期的に確認し、低積載輸送が発生しないように見直しの実施	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	配送ルート of 混雑箇所を事前に確認して頂き、混雑時は迂回路を使用	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (04) 輸送トラックの待ち時間の削減	トラック毎の入出庫時間をあらかじめ定め待ち時間削減 取引先倉庫には、待ち時間が発生しないよう入庫時間の予約を実施	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

08 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスの活用	三郷センター運営の一部3PLにて委託	○	○	○
08 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	保管倉庫から一括配送を実施	○	○	○
08 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	物量に応じて転送便の削減を実施	○	○	○
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	効率の良い配送ができるように物量情報を事前連動(週間発注数)	○	○	○
10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ()	引き取り時間前に到着した場合は、待機場所に移動しエンジンを止めて待機するように依頼	○	○	○

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	合同会社西友	事業所名	若菜川越オフィス			
取組措置		具体的取組措置		H30	H31	H32
02 公共交通機関への転換の推進 (02) 送迎バス等の運行		最寄3駅で当社間を往復する送迎バスを運行している。		○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

03 自転車への転換の推進 ----- (02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理	駐輪場の混雑を解消するため、バイク置き場・自転車の置き場を別に設置	○	○	○
--	-----------------------------------	---	---	---

《 1 大規模荷主 》

事業者名	合同会社西友	事業所名	三郷センター				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
02 モーダルシフトの推進 ----- ()	三郷センターから札幌センターへの転送便を全てJR貨物にて運行。また、福岡センターへの転送便は内航船にて運行			○	○	○	
03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- ()	省エネ法に基づく基準で毎年全国のセンターを把握し、法令に基づき報告			○	○	○	
04 積載率の向上 ----- (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	商品運搬具(パレティナ等)の標準化及び少量積載のパレティナを少ない台数で収まるよう商品をつい直す等の作業の遂行に取り組んでいる。			○	○	○	
04 積載率の向上 ----- (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	小分けの一部商品をオリコン(プラスチック製)から段ボールに変更して、軽量化・小型化を図っている。			○	○	○	
04 積載率の向上 ----- (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	立地法上の届出条件と輸送量に応じた適正車種を選択			○	○	○	

自動車地球温暖化対策実施方針

05 混載便の利用又は共同輸配送の実施 ----- (01) 混載便利用の取組	2店舗分を1台の車両で配送	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 ----- (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	順次低燃費車への入れ替えを実施中	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 ----- (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	定例会議で確認要請	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 ----- (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	定期的な燃費実績報告および定例会議で報告	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 ----- (01) 発注時間及び配送時間のルール化	商品ごとに発注締め切り時間設定、および最終納品時間を設定	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 ----- (02) 多頻度少量輸送の見直し	満載にならない場合次の時間の便に混載する場合もある。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 ----- (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	ドライバーからの情報や道路情報などから配送経路を変更	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 計画的な貨物輸送の推進 ----- (04) 輸送トラックの待ち時間の削減	トラックの納品スケジュールの「見える化」を実施。(納品ドライバーへのスケジュール開示・現場作業員へのドックスケジュールの配信)	○	○	○
08 物流の効率化 ----- (01) サードパーティロジスティクスの活用	三郷センターの店舗向け配送を3PLへ委託	○	○	○
08 物流の効率化 ----- (02) 物流拠点の活用	メーカーからの商品を三郷センターを経由する事で、全体の総走行距離を減らしている。	○	○	○
08 物流の効率化 ----- (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	GPSシステム導入を検討しており、納品先までの経路の見直しや出荷時間の調整を行い、出荷便数の削減や輸送距離の削減に注力	○	○	○
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ----- ()	物流事業部の政策や方針説明会を定期的に行い、具体的な取組内容を共有	○	○	○
10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ----- ()	店舗納品時間が重ならないよう調整	○	○	○
11 その他の必要な取組 ----- (01)	自社発注データを効率よく集計、配送会社に提供することで、最適な車両サイズや必要最低台数で配送計画が立案できるよう可視化の推進	○	○	○